


### 1. 背景と目的



**日本の高齢化率を先取り 41.7%!**

**【今回の対象】旧緒方町**  
拠点もしっかり(施設等充実)  
路線バス・コミュニティバスが直結  
ただ、利用が進まない地域も  
→地域間の差が大きい

### 大人の社会見学プロジェクトの経緯

**0期(帯広JCOMMで発表)**  
地域特性把握、公共交通利用実態の把握

**1期(東京JCOMMで発表)**  
旧千歳村・旧朝地町で社会実験  
大学生+自治体で実施

**2期(松山JCOMMで発表)**  
ここから高校生が参加  
旧朝地町で実施(新設路線の啓発)

**3期(福岡JCOMMで発表)**  
高校生参加2期目  
あいのりタクシー運行地域で実験  
旧清川村で実施(利用低迷の啓発)

**4期(豊田JCOMMで発表)**  
高校生参加3期目  
路線バス+コミバスで実験  
旧大野町で実施  
新設区間の日常的な利用促進

**5期目(今回)**  
高校生参加4期目  
コミバスで実験  
旧緒方町(図の赤丸)で実施  
**利用低迷の啓発  
高校生の意識変化**

### 4期経過の課題:

① **利用低迷地域の存在**  
→ **なぜ利用が低迷するのかの解析**

② **高校生・地域の意識変化の把握が不十分**  
→ **高校生の地域理解、意識変化、とは?**

### 今期のミッション:

**コミバス利用認知にイベントは効果+高校生の利用促進/地域の現状や課題を考えるきっかけ は可能か**

### 2. プロジェクトの内容

**対象**  
旧緒方町 上緒方線  
(同町内で利用が悪い路線)



**バスでおでかけ**

**では、まち以外に行きましょう**

**バスで出かけることのメリット + 高校生が地域のことを考える = イベント**

**遠足気分**で紅葉見学 (外出・バス利用のきっかけ)

**レクリエーション** (食事、運動など) (高齢者カフェと連携)

郷土料理教室(初)

みんなでお昼ごはん

高校生企画のボーリング・輪投げ。上位者に賞品も。

自宅まで戻り、高校生と大学生の **コンビで聞き取り調査** (生活実態、感想、意識などの把握)

高校生に対して事前準備=地域理解の醸成 (大学生との合同授業、体験乗車、意識把握)

このイベント参画での意識変化の確認

**高校生・地域住民の地域・公共交通への認識が高まるのか?**

**高校生・地域住民へ実験参加前後で意識調査実施**

昨年度からの改良  
①事前のニーズ調査実施  
⇒高齢者カフェで聞き取り  
=当該路線+別路線乗り継ぎで紅葉見学(最多のニーズ)  
②高校生の調査(意識変化の質問改良)

### 3. 効果について

**地域住民の意識について: 理解度・必要性↑、でも利用「？」**

**外出時交通手段**

コミュニティバス 7%

自分の運転 33%

徒歩 33%

無回答 11%

**コミバス利用者の利用頻度**

毎日 45%

月5、6回 22%

年1、2回 11%

数回だけ利用 11%

**外出の目的**

買い物 36%

病院 40%

送迎 20%

その他 3%

**コミバスを使う人も利用度・頻度は低い**  
使わなくて何とかなる人も

免許は返したい ← **乗ってみて、必要性・乗り方理解アップは有益**  
**若者との交流機会は重要** = また出かけた、交流したい意向は強い  
**公共交通で「非日常」の目的ができたことが新鮮: 観光、交流**

**一度乗れば理解度は向上**

**コミバスの必要性**

20%→60%へ

40%→50%へ

**地域住民の意識について: 理解度・必要性↑、でも利用「？」**

**高校生の意識について: 地域参画意識↑コミバス評価↓**

**コミバスの乗り方の理解度**

あまり上がらず

**コミバスの必要性**

微増傾向

**コミバスに乗ってみたいか**

下がってしまった

**コミバスの利用しやすさ**

評価が悪化

**実験の感想**

内容

利点

- ・緒方町やコミュニティバスの知識が増えた
- ・高齢者の声を聞くことができた
- ・大学生や社会人など若い世代の人達と交流することができた
- ・運営することの楽しさ、やりがいを感じた

改善点

- ・コミュニティバスについてもっと詳しく紹介するべき
- ・歩く、話すスピードを高齢者に合わせるべきだった
- ・自分の役割をもっと把握するべきだった

**イベントへの参画を通じてコミバスや地域への意識は変化**  
**ただ、改善点が多いため評価がネガティブに変化(想定外)**

### 4. まとめ

**地域住民に対しての効果**

イベントが利用・理解度向上のきっかけに有効(満足度高)

↑

**イベントでは利用促進にならない: コミバスに納得できていない点**

時刻表や路線図 → 社会実験のなかで学生でも改良可能  
運行の時間や路線 → 社会実験自体では変更不可

**連携効果はあった: 「おでかけ」誘因を引き出したことは事実**  
⇒ **これは今後も継続**

**高校生の評価下がったのは事前知識/意見反映が足りない?**

**高校生に対しての効果**

◎ イベント参画の意味  
→ **地域課題への理解向上に効果あり+大学生との連携に評価**  
現場に出ることで、高齢者の意識把握が的確に

◎ 高校生の持った意識の重要性: コミバス・社会実験の課題抽出  
→ **時刻表や路線図のわかりにくさ、説明の不十分さの指摘**

**【今後】「社会実験(イベント)」ではできないことの改善も含める**  
+ **高校生をより主導的にするプログラムの改良**

**<方策の案>** 事前に改善策・課題・意見などの抽出→検討・改良→説明会・体験乗車